

クリスティーヌ・ラガルド**IMF**専務理事による、アフガニスタン駐在代表に関する声明

プレスリリースNo. 14/14

2014年1月17日

国際通貨基金（IMF）のクリスティーヌ・ラガルド専務理事は本日、ワベル・アブダーラ**IMF**アフガニスタン駐在代表の死について以下の声明を発表した。

「**IMF**のアフガニスタン駐在代表であり我々の同僚で友人であるワベル・アブダーラ氏がカブールのレストランで攻撃にあい亡くなったとの報告を受けた。同氏を含め多くの方が命を失ったこのニュースは悲劇であり**IMF**職員一同衝撃を受けている。

犠牲者の皆様、そしてアブダーラ氏のご遺族・ご友人のお悲しみをお察し申しあげるとともに衷心より哀悼の意を表する」

ワベル・アブダーラ氏：60歳、レバノン国籍。2008年6月に駐在代表に就任。レバノン中央銀行を経て1993年に**IMF**に加わり、**IMF**の中東での活動や業務に携わった。